

ごえいか - イベント -

バックナンバー

弘法大師・興教大師誕生慶讃法要奉詠大会



入梅が間近となり、恵みの雨に潤いを感じる時節6月6日「弘法大師・興教大師誕生慶讃法要奉詠大会」が開催されました。一昨年は総本山長谷寺にて開催、昨年は東日本大震災の影響により大会の自粛、今年は2年ぶりに「板橋区立文化会館」にて、北は北海道、南は高知県と全国から57支部560名の講員の皆様がお集まりになりました。

会場に響き渡る『総本山長谷寺和讃』のお唱えの中、豊山流大師講総裁小野塚幾澄猊下をお迎えし、開会式の慶讃法要が厳修されました。色鮮やかな法衣を身に纏った職衆による声明と読経を両祖大師の御影前に捧げ、そして今年会場の皆様と共に、東日本大震災で命を落とされた数多くの御霊に、廻向を捧げました。

法要最後に『両祖大師誕生和讃・御詠歌 常住』を会場の皆様とお唱えし、両祖大師様への恩徳報謝の念を表しました。



厳粛な法要後には、新支部旗授与となり、今年は新たに5支部のお仲間が増え、中には震災で被害にあわれた福島県の支部もあり、震災に負けずと詠歌道に精進される姿勢に感心致しました。続いて、永年支部褒賞で3支部、永年講員褒賞で14名がそれぞれ御親授を賜りました。

次に、小野塚幾澄猊下による御垂示となり、お大師様のみ教えの1つである「^{じねんほうに}自然法爾」について触れられました。大震災での多くの犠牲者に追悼の誠を捧げ、心よりお悔やみをする一方、自然の中で生かされている自分を自覚し、自然を愛し、自然と共に生きていくことを、お大師様とお誓いするようにとお導き頂きました。その後、川田聖成豊山流大師講理事長より「両祖大師のみ教えを守り大師信仰という灯火を掲げて頂きたい」との式辞を頂戴し開会式を閉じました。

次に、遠藤賢明詠匠による詠歌指導に移りました。指導曲目は、今大会の課題曲である『盂蘭盆供養和讃』『宗祖弘法大師十夜ヶ橋和讃・御詠歌 橋陰』『彼岸供養御詠歌 耕心』『合唱礼拝御詠歌 除闇』『興教大師御一代和讃・御詠歌 新風』の5曲です。遠藤詠匠は難しい符を丁寧に指導されたので、講員の皆様は、この後に控えている登壇奉詠のために、お唱えの最終確認をされていたようでした。

奉詠の部へとプログラムは進み、講員の皆様は登壇シールを肩に張り、登壇ソックスを履いて、各々ご自身の出番を待っていらっしゃいました。普段の練習では、他の支部の皆様と合同でお唱えする機会が少ないですが、今大会のように合同奉詠となると、全国から集まれた講員さん1人1人の気持ちがひとつとなり、会場全体に詠歌和讃が満ちる瞬間は、迫力を感じると共に、皆様の同信同行の絆の喜びを肌で感じました。

閉会式では、小倉秀清豊山流大師講総本部長によるご挨拶の後に、『光明真言和讃』を一斉奉詠して今大会の幕を閉じました。

最後に今大会開催のために、ご尽力賜りました豊山流大師講総本部、また全国の講員の皆様に、心より感謝を申し上げます、大会の報告とさせていただきます。

参加支部			
常楽院	(東京都板橋区)	総持寺	(東京都足立区)
足立薬王院	(東京都足立区)	恵日山正覚寺	(東京都葛飾区)
善養寺	(東京都江戸川区)	円福寺	(東京都江戸川区)
円福寺第二	(東京都江戸川区)	安養寺	(東京都江戸川区)
圓勝院	(東京都江戸川区)	萬福寺	(東京都江戸川区)
真光院	(東京都江戸川区)	江戸川密蔵院	(東京都江戸川区)

東福寺	(東京都中野区)	世尊院	(東京都杉並区)
関戸観音寺	(東京都多摩市)	花蔵院	(東京都青梅市)
延命寺	(東京都小平市)	三光院	(東京都東大和市)
光明院	(川崎市多摩区)	観音寺	(川崎市多摩区)
弘 楽	(横浜市緑区)	千手院	(東京都町田市)
西福寺	(埼玉県三郷市)	延命院	(埼玉県杉戸町)
応正寺	(埼玉県深谷市)	萬福寺	(埼玉県皆野町)
寺尾講	(埼玉県秩父市)	高淵寺	(埼玉県皆野町)
光明寺	(埼玉県神川町)	光明寺神川	(埼玉県神川町)
貴 船	(千葉県千葉市)	吉祥寺	(千葉県松戸市)
宝光院	(千葉県松戸市)	寿量院	(千葉県柏市)
富蔵院	(千葉県野田市)	正延寺	(千葉県船橋市)
東学寺	(千葉県浦安市)	円福寺	(茨城県下妻市)
金蔵院	(茨城県古河市)	普賢院	(栃木県栃木市)
満願寺	(栃木県野木町)	下野国分寺	(栃木県下野市)
清滝寺	(栃木県鹿沼市)	栃木第一	(栃木県栃木市)
西光院	(栃木県佐野市)	禅定院	(栃木県足利市)
不動寺	(群馬県安中市)	圓明寺	(群馬県安中市)
安成寺	(群馬県太田市)	遍照寺	(群馬県館林市)
萬善寺	(新潟県長岡市)	金性寺	(福島県南相馬市)
長命寺	(福島県相馬市)	善明院	(山形県川西町)
普賢院	(青森県八戸市)	大阿寺	(北海道士別市)
善楽寺	(高知県高知市)		

[→前回のイベントを見る](#)

お問合せ

豊山流大師講総本部

〒112-0012 東京都文京区大塚5-40-8

TEL/03-3945-3900 FAX/03-3945-0702

(土・日・祭日・その他仏教行事等で、長期お休みを頂く場合も御座います。予めご了承下さいますようお願い致します。)